区政を聞く　代表質問（要旨）

自由民主党議員団

持続可能な財政運営と時代に合った適時適切な施策の推進を

平成30年度当初予算案及び今後の財政運営

問 **平成30年度予算編成に当たり区長はどのような姿勢で予算配分に取り組んだのか、予算の特徴について伺う。**

答 子育て支援、地域包括ケアシステム、観光振興、花いっぱいのまちづくり、地域産業の活性化などの事業に重点的に配分することで、多くの区民が住みやすい、住んでいて良かったと思える「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けた予算編成ができたと考える。

問 **平成30年度の都税収は増収を見込んでいるが、31年度には法人住民税の一部国税化のさらなる拡大が見込まれている。このような国の動向に対して、歳入への影響をどのように捉え、取り組んでいくのか。**

答 区財政に与える影響は、より一層厳しくなると考えられる。そのため、国・都補助制度の積極的な活用などの取り組みはもとより、計画的な基金積み立てや区債発行抑制等の財政対応能力の強化など、財政基盤のさらなる強化を図っていく。

問 **高齢社会の進展など、今後の社会状況の変化を見据え、本区の公共交通のあるべき姿を示していくべきと思うが、区長の見解を伺う。**

答 現在取り組んでいる公共交通網の構築に関する調査検討において、公共交通の意義や各主体の役割分担などを明確化するとともに、おおむね10年後のあるべき姿を示し、実現のための方策を明らかにしていく。

問 **都市計画道路整備などの進捗を踏まえた本区のバス路線網の充実に向けた今後の取り組みを伺う。**

区内を走行するバス

答 現在事業を進めている都市計画道路補助276号線は、水元地区から細田地区に至る区の東部を南北に縦断する主要な道路であり、新宿・高砂周辺の交通環境が大きく改善し、不足する南北交通を補うことが可能になる。こうした事業の進捗状況に合わせ、新規バス路線の開設や既存路線の変更など、バス交通の充実に向けて事業者と協働し取り組んでいく。

問 **葛飾区観光経済実態調査の結果を踏まえ、今後の観光施策をどのように進めていこうとしているのか。**

答 同調査では「歴史・文化」が本区の魅力として挙げられた。この結果を踏まえ、訪日外国人をはじめ、国内外の観光客を誘致するため、本区の魅力をより効果的な方法で情報発信していくとともにマップの作成、スタンプラリーの実施など、区内周遊につなげる取り組みを行っていく。

問 **東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、具体的な戦略を掲げて、スポーツ・文化の発信、外国人観光客対策に取り組むべきと考えるがどうか。**

答 大会を契機に「葛飾46万区民皆スポーツ」を目指し、すべての区民がスポーツ活動に参画できる機会の創出や区民の健康・体力づくり、障害者スポーツ等において戦略を策定する必要があると考える。また、伝統産業や柴又の重要文化的景観等、区の強みを生かした魅力の発信やおもてなし対策、治安の強化等についても戦略として掲げていく。

※他の質問項目　待機児童解消に向けた施策　など

かつしか区民連合

2020を見据え持続可能な発展を目指せ

中期実施計画から後期実施計画への見直し

問 **東京2020大会に向けた区の方向性とポスト2020の社会情勢も想定した方針を立てるべきだがどうか。**

答 同大会に向け本区の戦略の策定が必要であり、スポーツ分野以外でも葛飾らしさや区の強みを生かして行くことで、2020年以降も新たな事業の展開が可能となると考える。

※他の質問項目　中期実施計画の成果　など

葛飾区の環境政策

水元小合溜のヒシの刈り取り

問 **本区の生物多様性にとり重要な水元公園周辺の環境保全のため関係機関直しについての考えを伺う。**

答 同指針の策定から約10年が経過し、人権問題を取り巻く社会情勢の変化を踏まえた指針の見直しを検討する。

※他の質問項目　人権新三法

立石地域のまちづくり

問 **再開発後の振興など立石地域全体の将来へのビジョン・道しるべをつくる必要があると考えるがいかがか。**

答 駅周辺各地区の事業計画などの進捗を見ながら再開発後を見据えた将来像を描いていく必要があると考える。

※他の質問項目　住民参加によるまちづくり協議会の立ち上げ　など

葛飾区の観光振興と民泊

問 **近隣住民の住環境の保全のため、民泊には規制が必要と考えるがどうか。**

答 本区ではガイドラインを設け、事業の届出前に区への事前相談や周辺住民などへの事前周知を求めていく。

※他の質問項目　民泊の活用　など

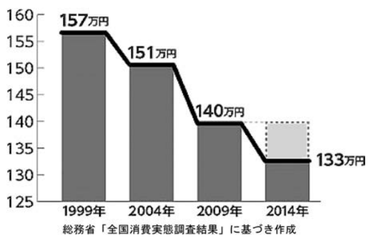
日本共産党葛飾区議会議員団

格差が拡大し、貧困がまん延　国保料など、区民負担の軽減を

来年度予算案

問 **貧困と格差が拡大し、国民全体が貧困化している。区長は、この実態をどう認識しているか伺う。**

答 低所得者層に対する支援策として、国民健康保険料、介護保険料の上昇抑制やひとり親家庭への支援、生活困窮者自立支援など、区民生活の状況を踏まえた施策に取り組んでいる。今後とも社会経済状況及び区民の生活状況を勘案した施策を推進する。



日本の貧困ラインの推移（実質）

問 **介護保険料の独自の減免制度を実施すべきと思うがどうか。**

答 平成30年度からの第7期介護保険事業計画では、国の公費による65歳以上の低所得者の保険料の軽減措置を引き続き実施しており、区独自の減免制度を実施する考えはない。

問 **後期高齢者医療保険料の値下げのために区独自に対策を講じるべきと思うがどうか。**

答 後期高齢者医療制度の保険者は広域連合であり、区独自の対策を実施できる仕組みになっていない。

問 **生活扶助基準の引き下げに、区長は反対すべきと思うがどうか。**

答 一般低所得世帯の消費水準を踏まえ、保護基準との間にある乖離を是正する改定を行うことは妥当で、反対することは考えていない。

問 **就学援助の支給額増額や小学校の支給時期について、今年3月から実施すべきと思うがどうか。**

答 今年度の予算計上がなく、支給手続きの期間を十分取れないことからいずれも実施する考えはない。

問 **区民に身近な学校こそ、安心・安全な施設にするための計画を資金とともに明確にすべきと思うがどうか。**

答（仮称）葛飾区学校施設長寿命化計画を作成し整備方針や水準を定める。また、国や都の補助金などを確保した上で、基金の活用など必要な財源を確保し、改築・改修を進める。

※他の質問項目　子育て支援　など

総合庁舎の建替え

問 **再開発事業による保留床の購入という方式での区役所の移転・建て替えは、中止すべきと思うがどうか。**

答 現時点で総合庁舎の立石駅北口地区への移転計画を中止する考えはない。

問 **総合庁舎の基本計画に事業費などの記載がないが、他自治体のように説明責任を果たすべきと思うがどうか。**

答 再開発事業の進捗を見ながら、新庁舎整備の事業費などが明らかになった段階で区民に示してまいりたい。

※他の質問項目　都税事務所の移転

監査制度

問 **監査委員に公認会計士や弁護士などの専門家を任命してはどうか。**

答 監査委員は識見を有する委員と議会から選任された委員で構成され、監査基本計画に基づき監査を実施し、監査機能は十分に発揮されている。

※他の質問項目　外部監査制度　など

入札制度

問 **JV入札制度における本社などの所在地要件を撤廃し、業者間の自由競争を促進すべきと思うがどうか。**

答 所在地要件は区外業者を排除するものではない。JV方式でも単体による入札方式と同様の方法を採用しており、競争性は十分確保されている。

※他の質問項目　予定価格の事後公表の実施

かがやけ Katsushika・維新

総合庁舎の基本計画に資金計画・総事業費を示せ

財政運営

問 **来年度から策定作業を行う後期実施計画の財政フレームの考え方を伺う。**

答 これまで培ってきた財政対応力を十分発揮し財源を確保した上で、時代の変化に対応した新たな事業を含めた計画事業を積極的に展開していく。

※他の質問項目　総合庁舎整備基金の積立による他基金への影響　など

障害者のコミュニケーション支援

問 **（仮称）コミュニケーション支援条例の制定について見解を伺う。**

答 障害特性に応じた多様なコミュニケーションツールの導入、理解の促進などを区民へ普及啓発するため、他自治体を参考に条例制定を検討する。

※他の質問項目　IP無線化　など

ＩＣＴを活用した安全・安心な街づくり（イメージ）

これからの広報のあり方

問 **区民への情報発信であるこれからの広報のあり方について、見解を伺う。**

答 伝える広報、「知りたい」に応える広報など多角的な取り組みをさまざまな広報媒体の特徴を生かして効果的に進める。また、広報課と各所管が今まで以上に連携協力して工夫を重ね、効果的な広報を展開する。

問 **区民モニター制度を創設し区民の意見を聞く仕組みをつくってはどうか。**

答 広聴機能のさらなる充実に向け、区民モニター制度を具体的に検討する。

葛飾区議会公明党

生きる力を育む教育と区政の情報発信・広聴の充実を

平成30年度当初予算案

問 **平成30年度から国民健康保険制度の財政の責任主体が都道府県に移るが、今後の持続可能な保険運営を伺う。**

答 保険料の急激な上昇を抑えるため、特別区独自の激変緩和措置を行うとともに、医療費の適正化や保険料収納率の向上に取り組むことで法定外繰入金の削減を図り、財政基盤を維持し、国保の安定的な運営に努める。

※他の質問項目　予算の特徴　など

教育

問 **葛飾区教育大綱はしっかりとした理念が掲げられるべきだが見解を伺う。**

答「学力・体力向上」、「家庭・地域との協働による教育」、「幼保小中高連携教育」の3つを明確な理念として掲げ、教育委員会と連携して子どもたちの社会を生き抜く力を育む。

問 **生きる力を醸成するためにコミュニケーション能力が必要と考えるが、どのように取り組むのか伺う。**

答 人とよりよく関わるための「かつしかっ子宣言」の実践報告を毎年発行し共有している。今後も、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を図り、コミュニケーション能力を高めていきたいと考える。

※他の質問項目　教育プラン　など

ICTを活用した安全・安心な街づくり

問 **本区におけるICTを活用した安全・安心分野での現在の取り組み状況と今後の方針を伺う。**

答 高所カメラの設置など積極的にICT技術を活用している。区民からの道路破損情報受付について葛飾区総合アプリを活用して情報交換を進めていく。現在、歩行者の移動支援のためのサービス実現に向け調査研究を行っている。今後も安全安心なまちづくりにICT技術を活用する。

区政を聞く　一般質問（要旨）　4面まで続きます

自由民主党議員団

新学習指導要領への適切な対応と健康寿命の延伸対策を

基金

問 **安定した財政運営を確保するための財政調整基金の目標額を伺う。**

答 区民サービスの維持向上を目指し、安定した財政運営を確保していくためには、少なくとも一般会計の財政規模の10%程度を目標額とし、基金の積み立てを進めていく。

※他の質問項目　基本的考え方　など

小学校の新学習指導要領実施に伴う取り組み

問 **2020年に向けて、移行期間となるこれからの2年間、英語教育などのような計画で進めていくのか伺う。**

答 文部科学省が示した年間指導計画例に、都の独自教材・区の地域教材の学習内容も位置付けた、区の指導計画を基に計画的に進めていく。

※他の質問項目　道徳科　など

健康寿命の延伸対策

問 **特定健康診査を活用して糖尿病の早期発見・早期治療につなげる仕組みを充実させるべきと思うがどうか。**

まちかど健康相談

答 健康診査の受診率向上を図り、新たに、治療放置・中断者対策を実施する。今後、事業化について検討を進め、早期発見・早期治療につなげる仕組みをさらに充実させていく。

※他の質問項目　がん検診推進　など

他の質問件名　不登校に悩むご家庭への配慮と対策、国民健康保険・後期高齢者医療保険、介護保険、介護予防活動拠点の整備と運営支援

花いっぱいのまちづくりとA－時代に即した教育の実践を

問 **東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、花いっぱいのまちづくりを区民とさらに盛り上げていくべきと考えるがどうか。**

答 ホームページの改善やSNSによる情報発信を行うなど、活動をPRしていくとともに、区民や団体、事業者との協働で花いっぱいのまちづくりを拡充していく。

※他の質問項目　都との連携

人工知能（A－）の発展に伴う教育のあり方

問 **人工知能の発展著しい時代にあって、今後の社会を生きていく子どもたちがリーディングスキルを身に付けることが大切であると考えるがどうか。**

答 各校において国語科を中心に読解力を身に付けさせる研究を進めている。今後も未来を切り開くために必要な力の一つとして、文章を読み解く力を育成する取り組みを進めていく。

※他の質問項目　リーディングスキルテストの実施

他の質問件名　学校におけるICTの推進

葛飾区議会公明党

子ども・子育て家庭への支援と安全で快適なまちづくりを

葛飾区版ネウボラ事業

問 **東京都の産婦健康診査支援事業の予算措置を踏まえ、区としてどのような検討をしていくのか伺う。**

答 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をより充実するため産婦健康診査導入の検討・調整を行う。

※他の質問項目　事業の所管　など

学校図書館の放課後利用

問 **子どもたちの自学自習場所（仮称）かつしかっ子の勉強部屋を保護者・地域との協働で創設してはどうか。**

答 図書館活用のモデル校研究などの成果を踏まえ、人的支援として地域等との協働を視野に入れて検討する。

※他の質問項目　有償ボランティアの協力　など

子ども・若者のひきこもり対策

問 **ひきこもりの支援には専門的な見地があり、関連機関と連携できる団体との協働も有効と思うが見解を伺う。**

答 専門的な見地や支援実績のある団体との協働も含め、区民から見てわかりやすい相談窓口や継続的な支援ができる体制の構築に向けて取り組む。

※他の質問項目　計画の施策

在宅介護の充実

問 **訪問型介護レッスン事業を早期に導入すべきと思うが区の考えを伺う。**

答 訪問型の介護レッスンは有効な取り組みであり、本区にふさわしい事業のあり方を整理し、実施を検討する。

※他の質問項目　実態把握　など

道路整備

問 **かわばた・東四つ木コミュニティ通りは樹木の更新を見据え抜本的な対策の検討が必要だが区の考えを伺う。**

答 危険木伐採と生育環境改善による延命化、若木への更新を組み合わせ計画的に改修する手法を検討する。

※他の質問項目　街路樹の管理　など

多文化共生社会の推進

問 **図書館にLLブックの専用コーナー**

区が庁舎移転の最優先候補地に選定した立石駅北口地区（準備組合作成）

を設け、普及と周知を図るべきと思うが区の考えを伺う。

答LLブックをより多くの方々に知ってもらうために有効な方法なので、まずは中央図書館へ設置する。

東四つ木コミュニティ通り

※他の質問項目　アプリの活用　など

他の質問件名　新生児聴覚検査の費用助成、国保減額調整措置の見直し、立石駅周辺地区のまちづくり

かつしか区民連合

すべての人にとってのやさしいまちづくりを

区民への情報提供のあり方

問異なる年齢層や多様な生活スタイルの区民などへの区政情報の提供の姿勢を伺う。また、区政情報を確実に届けるためには何が重要と考えるか。

答区民と区の信頼関係を築く広報を目指すため、区民が求める適切な情報を適切な形態で提供する必要があり、広報かつしかやフェイスブックなど多様な広報媒体を使い効果的な情報提供に努めている。また、区政情報を確実に区民に届けるためには区政への関心を高めることが重要であり、情報提供の手段や内容を工夫しながら、広報の充実に取り組んでいく。

※他の質問項目　高齢者に必要な情報を届ける定期情報誌の発行　など

人にやさしいまちづくりとお花茶屋駅の利用改善

問南側駅舎階段の「けあげ」段差や踏み面の奥行きの狭さ解消について交通事業者へのさらなる働きかけが必要と思うがどうか。

お花茶屋駅付近

答京成電鉄に申し入れているが、当面の対応として、注意喚起のための階段の黄色塗装を年度内に塗り直すとの回答を受けている。今後も、誰もが移動しやすい環境の整備に向けて、機会を捉えて引き続き京成電鉄に申し入れていく。

※他の質問項目　バリアフリー事業の成果　など

学童の見守りと登下校通知メール配信システム

問登下校を通知するメール配信システムを区内全49の小学校に導入すべきと考えるがどうか。

答現在4小学校で試験導入している。学年が進むにつれ加入者が減り、4割程度の活用状況である。引き続き活用状況を検証し、導入について研究する。

※他の質問項目　災害時における学校と家庭との連絡手段　など

日本共産党葛飾区議会議員団

在宅死4割、寄り添う介護を　児童館廃止やめ、子育て支援充実を

介護

問在宅死のうち、約4割が事故死、自殺、孤独死という現状の認識を伺う。

答自宅でのみとりのほかに事故死や自殺などが含まれていると認識している。75歳到達者個別訪問など高齢者の見守り体制の充実に努める。

問特別養護老人ホームの居住費は区が負担すべきと思うがどうか。

答低所得者への居住費等の補助については、既に補足給付があることから区が負担することは考えていない。

※他の質問項目　介護職員の処遇改善　など

公共施設の今後のあり方

問小菅・高砂保健センター廃止の代替措置をやめたり民間へ丸投げするなら、保健センターを復活すべきではないか。

答今後とも保健サービスの向上に努めていくため、小菅・高砂保健センターを復活させることは考えていない。

問小菅保育園の仮園舎に児童館を移転すべきと思うがどうか。

さまざまな取り組みが行われている児童館

答建て替え期間中は仮園舎で子育てひろばや子育て相談などを継続し、運動遊びでは出前児童館を検討する。

※他の質問項目　財源が措置されない公共施設の複合化の意味　など

リノベーション事業

問営利企業が図書館業務を同時に担うのは、公の施設として両立しないのではないか。

答図書サービスカウンター業務は、既に本区の図書館でも民間業者に委託しており、問題はないと考える。

問亀有リリオ館7階リノベーション事業と、その根拠となる基本協定は撤回すべきと思うがどうか。

答子供たちと本を結び付ける事業を、積極的に展開してきた本区に大切な事業であり、撤回する考えはない。

※他の質問項目　今後のさらなる税金投入の危険　など

かがやけ Katsushika・維新

子どもの発達障害は早期発見・早期療育と周囲の理解が大切

5歳児健康診査事業

問本事業の実績と保育園などとの連携にどのような変化があったのか伺う。

答発達状況確認のアンケート提出率が上昇し、成果が着実に出ている。関係機関の保護者への声掛けが話し合いのきっかけとなり、両者が連携しながら発達障害に向き合い、対応していく土壌ができてきている。

※他の質問項目　健診後のフォローや保護者への対応　など

次期の基本計画に新金線旅客化を入れ、実施計画を区民に示せ

まちづくり

問新金貨物線の旅客化を次期の基本計画・実施計画に取り入れ、実施すべきと考えるが、区長の見解を伺う。

葛飾区基本計画と実施計画

答来年度旅客化に向けた需要予測などを検討し、一定の方向性が出れば基本計画などへの取り入れを検討する。

※他の質問項目　森永乳業東京工場の生産中止後の跡地利用　など

教育

問本区の生徒や親からの高いニーズは進学のための学力向上と思うが、次の教育振興基本計画での目標を伺う。

答進学について生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できることが大切である。次の計画でも全ての子どもに確実な基礎学力を定着させる学力向上策を位置付け取り組む。

※他の質問項目　教育長の目指す教育を進めるための数値目標　など

公共施設

問公共施設の再編や所管などの見直しについて、区の見解を伺う。

答施設の状況や取り巻く環境の変化を踏まえ必要と判断した場合には、施設の再編や所管の見直しなどを行う。

無所属（※5）

保育の充実に伴う人材確保と公共交通の課題への適切な対応を

保育人材の確保

保育園での戸外遊び

問保育従事者の労働実態に合わせた支援が必要と思うがどうか。

答延長保育にかかる経費について、実施時間や利用者数に応じた補助を行っている。引き続き保育士の負担軽減を図りながら、やりがいが持てるよう支援をしていく。

※他の質問項目　補助金の適正使用

地域公共交通会議の開催

問地域公共交通会議の開催により、既存の公共交通の課題解決や新たなニーズの検討・議論がより効率的に行えると考えるが、区の見解を伺う。

答来年度には公共交通に対する地域のニーズなどを把握し課題解決が必要な地域を抽出したいと考えている。今後、その課題解決を検討する際、必要に応じ同会議の開催を検討する。

※他の質問項目　過去の会議開催経緯

他の質問件名　リリオ亀有リノベーション絵本劇場の官民連携

無所属（※6）

障害者差別解消法による平等社会の実現と意識改革を

障害者差別解消法

問差別解消に向けた障害者差別解消支援地域協議会の取り組みを伺う。

障害者差別解消法ポスター

答周知のためのパンフレットや啓発チラシの配布のほか、同協議会で差別の実態把握や相談体制整備を進める。

※他の質問項目　区職員への研修の成果　など

災害時における要配慮者対策

問本区の地域防災計画に定められた要配慮者施設の取り組み状況を伺う。

答水害時避難確保計画を作成しておらず、区の働きかけなどが必要である。

※他の質問項目　避難確保計画の作成などへの区の支援　など

障害者スポーツの現状及び今後の方針

問現状及び今後の方針を伺う。

答スポーツ教室などを開催している。今後も共生社会の構築を目指して、スポーツに親しめるよう取り組む。